

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2020年9月457号

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>

敬老の日と祝福

主任司祭 内藤 聡

毎年9月の半ばになると「敬老の日」を迎えます。戦後始まった国民の祝日である「敬老の日」は、日本独特のもので、外国には見当たりません。またカトリックの『祝福の祈り』には「高齢者への祝福」がありますが、典礼には「敬老の日」のための祈りはありません。日本の教会はこの祝日を上手に受け入れ、色々と工夫して祝っています。

しかし、今年は多くの教会ではコロナウイルスの影響で敬老のお祝いなどに集まるということが難しい状況にあるかと思います。

富士吉田教会にあっても、敬老のミサの後に信徒館で茶話会をしていましたが、今年はミサの中での祝福の祈りと病者の塗油だけとなります。少し寂しいと感じる方もいると思いますが、当日参加できる方は無理をなさらずに来ていただけたら嬉しいです。

そのような中で今回は「病者の塗油」について少し考えたいと思います。

「病者の塗油」とは、恐れと痛みを抱えている病者に、イエスが「共にいてくださる」ということを直接触れて感じることができる秘跡と言えます。

イエスは、触れる人でした。聖書には、イエスが病気や障害を抱えた人に、深い憐れみを持って直接触れる姿が数多く記されています。行く先々で目の見えない人、耳の聞こえない人、熱を出して寝込んでいる人に触れ、さらには人々から見捨てられ、近寄ることすら恐れられていた重い皮膚病をもっている人に、直接触れられました。そうしてイエスに触れていただいた人はみな、体も心も癒され、恐れと絶望から解放され、神の愛を信じることに気づいていきました。

「病者の塗油」において、信じるものはみな、このイエスのわざを体験します。司祭が「いつくしみ深い主キリストが聖霊の恵みであなたを助け、罪から解放して、あなたを救い、起き上がらせてくださいますように」と唱えて額と両手に聖香油を塗るとき、その人は司祭を通してイエスに触れています。すなわち、天の父のみ心に直接触れていると言えます。だれにとっても、病気はつらいです。体の痛みもさることながら、恐れと孤独という魂の闇が、つらい。そんなときにこそ、キリストがその一人一人のそばにいてくださるということに私たちは力づけられます。

かつてこの秘跡は「終油の秘跡」と呼ばれ、臨終の人に授けられていたことから、死の間際にならないと受けられないとされてきましたが、これは死ぬ直前のための秘跡ではなく、信仰に強められて真に生きるための秘跡です。入院する前、手術の前など、何度でも受けることができます。「老い」自体は病や障害ではないが、体が衰え、死を意識し、恐れと孤独と向かい合う日々こそは、イエスに触れていただく恵みを必要としているのではないのでしょうか。

『新型コロナウイルス感染症対策におけるミサについて』

2020年2月28日付

カトリック横浜司教区

司教 梅村 昌弘

1. 教区として、全教会のミサ、特に主日のミサを一律に中止するというような指示はいたしません。横浜教区は4県にわたっており、小教区の置かれている状況もさまざまです。それぞれの現場での判断におゆだねします。言うまでもなく、衛生対策は十分行なってください。
2. 体調がすぐれない方はミサへの参加をお控えください。またご高齢の方、持病をお持ちの方も無理なさらないでください。
3. 同じく、体調不良、またはご高齢や持病をお持ちの神父様方も、無理せずミサの挙行をお控えください。
4. 主日のミサの義務を免除する権限は各司祭に与えられておりますが、改めて教区長として義務からの免除をいたします。
5. そのほか個人としてまた共同体として、賢明かつ冷静に対応してください

富士吉田教会委員会

2020年8月16日改訂

※国または山梨県で非常事態宣言が発令された場合、ミサは中止とします。(報道、連絡網で確認)

『ミサの参加について:発熱のある時(事前に体温を確認)、体調の悪い時は参加しない』

『感染対策中のミサについて』

1. 入堂時には、マスクの着用、アルコール消毒を行う。
(マスクを忘れた方は、教会で用意しています)
2. ミサ席は、聖堂が満席の場合は駐車場と信徒館を使用する。(外部スピーカーあり)
3. 座席は離れて座る。(子供たちは親との判断)
4. ミサ中の聖堂内は換気を行う。(窓を開ける)
5. 聖歌・答唱詩編等は、歌わない。(外部スピーカーの為、朗読はマイクを使用する)
6. ミサ中献金袋は回さないで、聖堂に入るときに献金箱に入れる。
7. 聖体拝領の時は、人との距離をとって並ぶ。(聖堂の外は聖体奉仕者が行う)
8. ミサ後は速やかに退堂し、信徒間の会話はなるべく距離をとる。
9. 聖堂の清掃は、掃除機を使用せずクイックルワイパー(ウェット)を使用する。
10. 使用した「聖書と典礼」は返却せずお持ち帰り下さい。

教会委員会記録

8月16日 16名参加

1. 8月～9月の典礼について・・・別紙「こよみ」参照
2. 新型コロナウイルス感染症対策中におけるミサについて…別紙参照
3. 山梨地区宣教司牧委員会について役員会報告
 - ・地区懇談会の中止
 - ・司祭巡回8月23日は中止、11月25日は未定
 - ・山梨地区宣教司牧委員会10月25日未定（10月11日の役員会で検討）
4. 教会の修繕について
 - ・聖堂ガラス補修・・・山田硝子に発注する。
 - ・信徒館入り口の鍵の不具合・・・山田硝子に見て頂く。
 - ・司祭館、信徒館のエアコン掃除・・・ダスキンに問い合わせする。
 - ・近年の夏場高温化に対応するため、聖堂にエアコン設置検討する必要があるのではないか。
配線のことも考えなくてはいけないので電気店に相談してみる。
 - ・聖堂入口の手すり、東海林義夫さんに、綺麗に塗って頂いた。
5. その他
 - ・9月20日（日）敬老のお祝い。
信徒23名 シスター13名 司祭3名
該当の信徒の方に8月末にご案内はがきを出す。
ミサの中でお祈りして、病者の塗油をして、プレゼントをお渡しする。
コロナウイルス感染防止のため茶話会は中止。



お知らせ

- ★「おとずれ8月号」にて「教会記録」に誤りがありました。申し訳ありませんでした。
× クリスチアナ 佐藤 八重子 → ○ クリスティーナ 佐藤 八重子さん

教会記録

- ★ 帰天 天国での安らかな憩いをお祈りいたします。
シスター アガタ 池田 崑代子 聖ヨハネ布教修道会 8月21日



9月

- 4日（金）初金曜日 ロザリオ 10:00 ミサ 10:30
- 6日（日）年間第23主日 ミサ 9:30 被造物を大切にする世界祈願日 教会委員会
- 8日（火）聖書を読もう 10:00 聖マリア誕生（祝日）
- 12日（土）聖書を読もう 13:30
- 13日（日）年間第24主日 ミサ 9:30 （聖堂掃除は河口湖・吉田地区）
- 14日（月）十字架称賛（祝日）
- 20日（日）年間第25主日 ミサ 9:30 敬老のお祝い（茶話会は本年中止）
（聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区）
- 21日（月）聖マタイ使徒福音記者（祝日）
- 22日（火）聖書を読もう 10:00
- 26日（土）聖書を読もう 13:30
- 27日（日）年間第26日主日 ミサ 9:30 世界難民移住移動者の日（献金）
（聖堂掃除は吉田地区）
- 29日（火）聖ミカエル聖ガブリエル聖ラファエル大天使（祝日）

イタリア語教室 月曜10時 7日・14日・28日

日曜学校 ミサ後 夏休み

10月

- 2日（金）初金曜日 ロザリオ 10:00 ミサ 10:30
- 4日（日）年間第27主日 ミサ 9:30

新型コロナウイルス感染拡大の状況で、変更の可能性があります。
変更の際は、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします。

9月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
6	東海林義夫	山本一孝		福永好雄	江守香代子	
13	東海林美佐子	栗原今朝夫		小山田匡宏	曾根美香	
20	江守香代子	東海林義夫		志村好直	小松二三子	
27	東海林美佐子	山本一孝		大野隆	相沢千代子	